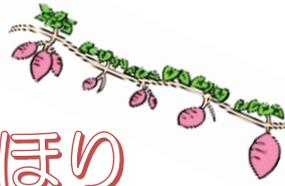


こ じんけんぶんかそうそうじぎょう 子ども人権文化創造事業

しょうがくせい いち レッツ (小学生) 芋ほり

10月31日(月)、待ちに待った芋ほりの日です。いつもの開始時刻よりもはやく集まり、畑へ向かいました。それぞれの場所にわかれてほり始めました。「あった〜!」「でかっ!」「とれない!」など、歓声が聞こえました。たくさん収穫することができました。とれた芋は、11月20日(日)開催予定のキッズスクールで焼き芋にして参加者に食べてもらう予定です。



キッズスクール 光の宝箱

11月5日(土)、日永小学校の1・2年生の先生方にお世話になり、キッズスクールを開催しました。今回のテーマは、「光の宝箱」で、牛乳パックを使って箱をつくり、その中にアルミ製の紙を筒状にして、形をいろいろ〇△◇♡などに変えながらいっぱい敷き詰め、そこへ色つきのセロハンを貼り合わせることによって、スタンドグラスのように見える宝箱を作りました。光にあてると、色の重なりや光の角度によっていろんな色の見え方があり、とても綺麗でした。子どもたちも楽しく活動している様子が見られました。



ちゅうがくせいとくべつきかく 中学生特別企画

こうこう ~高校ガイダンス~

今年度も、人権プラザ天白・赤堀合同で11月8日(火)と10日(木)の二日間開催しました。二日間で生徒、保護者合わせて、のべ38人の方に参加していただきました。

当日参加してくれた生徒さんたちは、高校の先生からの話を熱心に聞き、また各校からパンフレットや高校生が制作した映像などを見ることができ、それぞれの高校の特色やカリキュラムなどを学ぶことができました。

子どもたちからは、部活動についての質問や保護者からは、入試で学校として重視しているところはどこか、といった質問もあり、参加校の先生方からもご返答をいただくことができました。また、ガイダンス終了後に直接高校の先生に質問されている保護者もみえました。

子どもたちの感想からは・・・

各学科の内容がよくわかりました。専門系の学校は就職ばかりと聞いていたけど、進学することもあることを知りました。

高校のことやどんなところが自分にあうのかが、全然わからなかったので参加しました。映像やプリント、パンフレットなどで、ていねい説明してくれたので、よくわかりました。

ネットで見た高校の様子とは全く違ったので、参加できて良かったと思いました。

どの高校もいいところがあって、進路の高校の幅が広がりました。



てんぱく おんこちしん ～天白、温故知新～ NO.11

このコーナーは昨年度より、紙面に余裕のある際に、私（筆者）が以前に南中学校やこの人権プラザ天白に勤務していた頃（1992～2005年）の人権同和問題に関わる取り組みについて紹介してきました。昨年度は10回にわたって、主に25年程前より新校舎建設までの間に行われていた南中学校文化祭での職員劇『教科書無償化運動』『全国水平社創立』について回想してきましたが、今号からは、『差別落書き』について回想していきます。

さべつらくが まな 差別落書きから学んだこと NO.1

2002年11月19日午後9時5分、児童集会所南壁面、児童公園、プラザ駐車場で、計5つの差別落書きが発見されました。ちょうど20年前の出来事です。

この日、私は連日続く32町11会場で行われていた日永同推協主催の地区別懇談会の終盤を迎え、振替休日をもらい、滋賀県長浜市へ史跡巡りに出掛け、夕方に自宅にもどりました。夜間、携帯電話は車の中に置き忘れ、翌朝、出勤前に地域の方からの絶叫にも満ちた落書きを知らせる留守番電話に気づきました。「まさか・・・」急いで、プラザへ向かい、駐車場へ進入しました。ビニール袋に覆い隠された駐車場看板。私は思わず、その場へへたり込んでしまいました。

さらに21日午後0時10分、中央緑地前バス停から西へ入った市道歩道1号線上で同一日、同一人物の仕業と思われる差別落書きが発見されたのでした。（次号につづく）